

事務事業評価表 平成22年度

政策 安全で快適な都市生活の充実

施策 交通環境の充実

基本事業 安全で快適な道路づくり

事業名 **不法投棄対策事業(市道)**

[0747]

部名	建設部	事業開始年度	平成17年度	実施計画事業認定	非対象
課名	土木事務所	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市道</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>廃棄物を処理することにより、道路の機能及び景観を維持するとともに、さらなる不法投棄発生を抑止する。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>市道に不法投棄された廃棄物について、巡回を行い処理する。</p>
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市道延長	km	824	827	827	827
対象指標2						
活動指標1	巡回回数	回	12	12	12	12
活動指標2						
成果指標1	不法投棄物延べ処理件数	件	141	113	130	140
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	4,900	4,579	3,430	4,655
正職員人件費 (B)		千円	837	836	830	833
総事業費 (A) + (B)		千円	5,737	5,415	4,260	5,488

費用内訳	
21年度	委託料 3,430千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	市の家庭系ごみの収集が平成16年10月より原則有料となったことから、不法投棄が一時的に増加するものと予想され、その対策のため	事業を取り巻く環境変化	家庭系ごみの有料化や、家電製品等についてもリサイクル料金が発生するようになり、不法投棄の要因が増加している
--------	--	-------------	---

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
・
根拠は？

本来発生者責任であるが、市道の美観及び機能保持、さらにはごみのごみを呼ぶ事態を抑止するためには妥当な事業である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

道路の機能・美観維持上は基礎的事業に近い事業である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
・
根拠は？

不法投棄物処理を実施することで快適な道路環境を維持している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

不法投棄重点地域における啓発の拡大。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由
・
根拠は？

組織見直し等で削減してきており、これ以上のコスト削減は難しい。